

薬 剤 名	有効成分・含有率	試 験 目 的	判 定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
9. SZ-8027 液	成分未公開 17%	・稲登熟期の低温条件下における登熟歩合向上。 〔作用性〕	継		・初年目、成分未公開、作用性の明確化。
10. R-452 乳	2,3-ジハイドロ -5,6-ジメチル -1,4-ジチン -1,1,4,4-テトラオキシド 24%	・稲刈取時の初乾乾燥効果。 〔作用性〕 〔適用性〕	継		・有望、適用条件の検討（処理時期、使用量）

(2) 畑 作 関 係

薬 剤 名	有効成分・含有率	試 験 目 的	判 定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
1. CaCO ₃ 水和 (クレフノン)	炭酸カルシウム 95%	・馬鈴薯の徒長防止による収量増加、デンプン価向上効果。 〔作用性〕 〔適用性〕	継?		・効果不十分。
2. C-MH 液	マレイン酸ヒドラジドコリン塩 39% (MHとして20%)	・馬鈴薯の収穫前茎葉散布による貯蔵中の萌芽抑制効果。	実・継	・馬鈴薯の収穫前2～3週間に80～120倍液を茎葉散布。	・最適濃度、処理時期についてはさらに検討。
3. GF-030 液 (グリーンナー)	マイクロクリスタリンワックス 10%	・移植てん菜の活着促進、初期生育促進効果。	継?		・効果不十分。

編 集 後 記

冬ごもりをしていた虫が、あまりの暖かさにつられて地上に這いだしてみたら、日本列島は本年最低気温を記録する寒気団に覆われ、又もや冬ごもり……したかと思うと春一番が吹きあれる。女心と秋の空……いや春の空かも知れぬが、とにかく春は天候・気温ともに変化がはげしい。春を告げる雑草は、はや緑で裸の地面に衣を着させつつあるが、経済界は予想以上の不況が長びき、金属・繊維・パルプなど、在庫調整が当分続きそうで、何時回復するのか目処さえ立たないという。第二次石油ショックを円高によって吸収したまではよかったが、逆に値下

がりするので大慌て……これからの農業は、経済界の二の舞いを繰り返してはなるまい。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 東京(03) 832-4188(代)

昭和56年3月発行

植調第14巻第12号

¥250(送料140)

編集人 日本植物調節剤研究協会専務理事 吉沢長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03) 833-1821番(代)